

第59回山形県建設業

労働災害防止大会



とき 令和6年7月5日（金）
会場 パレスグランデール2F「エアリアルアンティス」

主催：建設業労働災害防止協会山形県支部
後援：山形労働局・山形県



危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽
みんなで築く職場の安全

大会プログラム

司会：佐藤 博子

第一部（13：30～14：50）

- 開会
- 特別講演 「武家勢力の進展と東北の苦難」
東京大学史料編纂所 教授 本郷 和人 氏

休憩（10分）

第二部（15：00～16：00）

- 開会 黙 禱
- 主催者挨拶 建災防山形県支部 支部長 太田 政往
- 来賓祝辞 山形労働局長 小林 学 氏
山形県県土整備部長 小林 寛 氏
国土交通省山形河川国道事務所長 森田 裕介 氏
- 表彰 建設業労働災害防止協会山形県支部長賞
〈表彰事由紹介・受賞者のご紹介・表彰状授与〉
- 受賞者代表謝辞
- 安全の誓い 建災防山形県支部 副支部長 澁谷 豪
- 閉会

受賞者紹介

《建設業労働災害防止協会山形県支部長表彰》

団体賞

安全管理組織、運営状況、過去の無災害記録の樹立状況からみて労働災害防止活動が特に優れており、他の模範と認められる優秀な団体、企業を表彰いたします。

企業

〈米沢分会〉	ハマダ建設 株式会社 福島建設 株式会社	〈村山分会〉	株式会社 マツダ建設 有限会社 板垣土木
〈長井分会〉	株式会社 佐藤商事	〈最上分会〉	株式会社 丸友工業
〈山形分会〉	株式会社 山源建設 株式会社 石川	〈鶴岡分会〉	株式会社 安藤建設 株式会社 ツジムラ
〈西村山分会〉	株式会社 富樫建設		

個人賞

功績賞

永年にわたり労働災害防止活動に従事し、自社及び各地域にあって安全活動を活発に推進され、安全水準の向上に極めて顕著な功績をあげておられる方を表彰いたします。

〈米沢分会〉	板垣 秀樹 (株式会社 大建工業)	〈酒田分会〉	平向 修 (T&日本メンテ開発 株式会社)
〈長井分会〉	莊子 義博 (株式会社 鈴木工務店)		池田 貢 (庄司建設工業 株式会社)
〈西村山分会〉	石山 昭彦 (村山建設 株式会社)		小松原 幸二郎 (阿部建設 株式会社)
〈鶴岡分会〉	笠原 俊一 (笠原建設工業 株式会社)		大金 敦 (株式会社 みなと)
		〈県支部〉	太田 幸市

優良職長賞

職長として担当した現場が無災害であり、職務遂行のための自己研鑽に努め、安全管理・作業指揮等の能力に優れており、更に部下への安全管理にかかる知識や技能の継承に尽力されている方を表彰いたします。

〈米沢分会〉	安部 政義 (株式会社 竹田組)	〈最上分会〉	二坂 栄一 (株式会社 新庄・鈴木・柴田組)
〈長井分会〉	青木 悟 (有限会社 渋谷重機開発)		菅 祐治 (株式会社 カキザキ)
〈村山分会〉	横山 允 (株式会社 矢萩土建)		星川 忠 (星川建設 株式会社)
	平 悠二 (株式会社 奥山建設工業所)		



安全の誓い

山形県内における建設業の労働災害は、会員をはじめ関係者のたゆまぬ努力により長期的には減少傾向にあり、令和5年の休業4日以上の死傷者数は188名で、対前年比10名、5.1%減でしたが、依然として憂慮すべき状況にあります。

建設業界は今、時間外労働の上限規制への対応など働き方改革の推進、技能者、技術者の慢性的な不足や高齢化の進展などの影響もあり、労働災害発生リスクの高まりが懸念されています。こうした中であって、建設業が魅力ある産業として次世代層にも周知され、地域社会と共に持続・発展するためには、現場における安全と安心は不可欠であります。

このため、「安全は全てに優先する」という基本理念のもと、建設業に従事する全ての人々が労働災害のない安心して働ける職場環境を実現するため、

- 一、多発する「墜落・転落災害」の防止対策を徹底する
- 一、現場におけるメンタルヘルス対策を推進する
- 一、リスクアセスメントを確実に実施し、リスクの低減を図る
- 一、安全衛生教育を一層推進する

を重点として、関係者が一丸となって、安全衛生活動に取り組むことを誓います。

令和6年7月5日

第59回 山形県建設業労働災害防止大会

特別講演者のご紹介

東京大学
史料編纂所
教授

本郷 和人 氏

(ほんごう かずと)



プロフィール

1960（昭和35）年東京都生まれ。

東京大学史料編纂所教授。

東京大学・同大学院で石井進氏・五味文彦氏に師事し
日本中世史を学ぶ。

中世政治史、古文書学専攻。

史料編纂所で『大日本史料』第五編の編纂を担当。

著書に『天皇はなぜ生き残ったか』『戦国武将の明暗』など。